



2022 年度 環境経営レポート

有限会社 エコナ

長野県諏訪郡下諏訪町 2 2 2 2 番 8

2024 年 12 月 20 日発行

(このレポートの対象期間は当社の事業年度 2022 年 11 月 1 日～2023 年 10 月 31 日です)

環 境 経 営 レ ポ ー ト 目 次

1.計画の策定

- 1-1.組織の概要
- 1-2.施設等の状況
- 1-3.処理フロー
- 1-4.環境活動実施体制
- 1-5.レポートの対象範囲
- 1-6.環境経営方針
- 1-7.環境経営目標

2.環境経営計画及び実施した取り組み内容

- 2-1.二酸化炭素排出量削減
- 2-2.廃棄物排出量削減
- 2-3.総排水量削減
- 2-4.環境配慮製品の増産
- 2-5.働き方改革
- 2-6.その他の取り組み

3.取り組み状況の確認及び評価

- 3-1.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価
- 3-2.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

4.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

5.代表者による全体の評価と見直し

はじめに

当社は2012年6月1日に「環境マニュアル」を作成し環境マネジメントシステムを立ち上げました。

環境経営のための仕組みを構築・運用・維持しながら、環境保護のために次のステップへの足掛かりとしています。

美しい信州のために、さらには子どもたちの未来の地球のために取り組んでまいります。

1. 計画の策定

1-1.組織の概要

事業者名	有限会社 エコナ 2005年11月設立 資本金 300 万円 代表取締役 濱 義国
連絡先	TEL 0266-26-8825 FAX 0266-28-8882 E-mail info@econa.co.jp
所在地	長野県下諏訪町 2222 番 8
事業規模	受注額：187 百万円 従業員：16 名

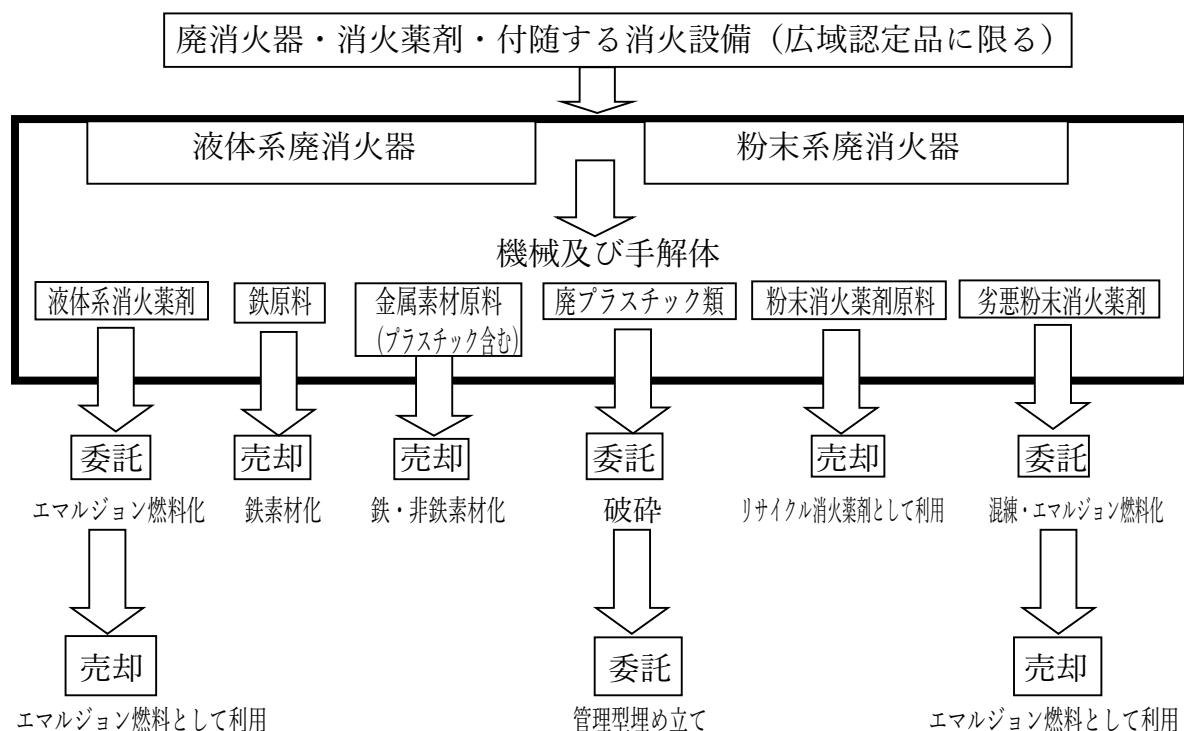
1-2.施設等の状況

中間処理施設の種類の	一般廃棄物処理施設（選別施設） 床面積：344 m ²
処分する廃棄物の種類	廃消火器（広域認定品に限る）
収集運搬車両	普通貨物アルミバン 2 台 タウンエースバン 1 台
処理能力	8.96 t／日 （1.12 t／時、1日8時間稼動）
処理実績	収集運搬量：2,312 t 中間処理量：2,188 t

保管場所	処理前廃消火器保管場所①	5 6 . 9 6 m ²
	処理前廃消火器保管場所②	4 . 1 8 m ²
	粉末消火薬剤原料保管場所	9 . 0 0 m ²
	劣悪粉末消火薬剤保管場所	1 . 0 0 m ²
	液体消火薬剤処理後保管場所	1 0 . 3 5 m ²
	処理後金属製品保管場所	1 8 . 0 0 m ²
	処理後廃プラスチック・金属クズ保管場所	2 . 7 7 m ²
	解体不能消火器保管場所	5 . 7 2 m ²

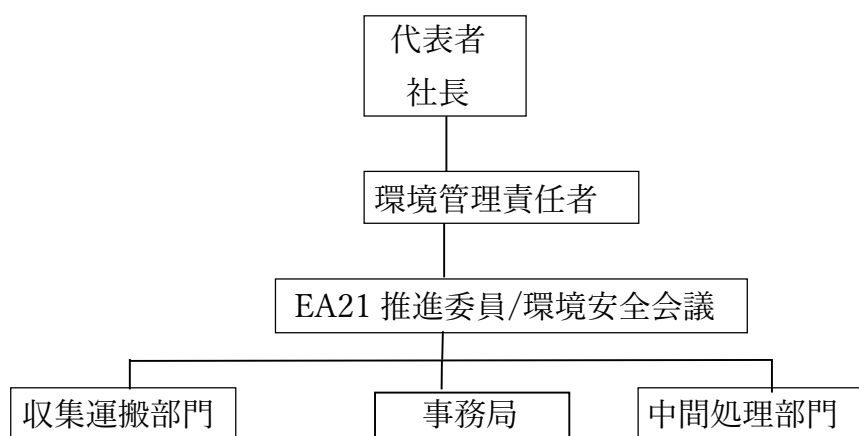
許可の状況	廃消火器の収集運搬 廃消火器の保管 廃消火器の中間処理	環境省	認定番号平成 21 年 第 3 号（一般廃棄物）、 第 179 号（産業廃棄物）	平成 21 年 12 月 28 日 認定取得
	一般廃棄物処理施設	長野県	許可番号 第 14 - 03403 号	平成 26 年 7 月 15 日 許可取得
	産業廃棄物収集運搬業	長野県	許可番号 第 2002160130 号	令和 3 年 5 月 20 日 許可取得, 令和 8 年 5 月 19 日 迄有効
	産業廃棄物収集運搬業	新潟県	許可番号 第 01509160130 号	令和 3 年 7 月 6 日 許可取得, 令和 8 年 6 月 5 日 迄有効

1-3.処理フロー



1-4.環境活動実施体制

実施体制図及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境マネジメントシステムの承認及び見直し ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能技術者を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・ 環境目標・環境活動計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境目標・環境活動計画書を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認
推進委員 環境安全会議	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・ 環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口

	・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・手順書作成及び運用管理 ・従業員に対する教育訓練の実施
事務局	・推進委員会/環境安全会議の内容を記録作成するとともに、全従業員との円滑な情報交換・取りまとめ
全従業員	・決めたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・問題点の発見・是正・予防処置の実施 ・環境活動計画の実施及び達成状況の報告

1-5.対象範囲

このレポートは事業年度 2022 年 11 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日までの 1 年間を取りまとめ、2024 年 12 月 20 日に発行しました。

1-6.環境経営方針

当社はリサイクルを行う静脈産業分野において、地球環境との調和を自らの責務と認識し、事業活動の全過程における環境経営の継続的改善に以下の方針のもと、全員参加で取り組むことをここに宣言する。

1. 環境に関しての法律、協定を順守します。
2. 当社の事業活動によって生じる環境影響をしっかりと把握し、次の視点から適切な環境目標を設定し、継続的改善のため活動していきます。
 - ①消火器のリサイクルを提案促進し、拡大します。
 - ②廃棄物の削減に取り組むとともに、再資源化に努めます。
 - ③水使用量の削減に努めます。
 - ④二酸化炭素の排出の削減に努めます。
 - ⑤グリーン製品を意識した購入や調達に努めます。
 - ⑥受託した産業廃棄物の処理における環境配慮に努めます。

- ⑦受託した化学物質の適正な取り扱いに努めます。
3. 地域周辺の環境保全に配慮し、また積極的に地域活動に参加するなど、地域から信頼される事業活動を行います。
4. 環境教育を通じて全従業員の環境意識を高め、従業員自らが環境問題に関心を持ち行動できるようにします。
5. 環境方針は全社員に周知徹底し、社外からの要求に対してこれを公開します。

制定日：2012年6月 1日

改訂日：2022年3月17日

代表取締役社長 濱 義国

1-7.環境経営目標

No.	項 目		2021 年度 実績	2022 年度 目標	2023 年度 目標	2024 年度 目標	2025 年度 目標
1	粉末消火 薬剤原料 増産	資源化促 進 t	1,056	1,110	1,220	1,280	1,340
2	二酸化炭 素 排出量削 減	電力の削 減 kg・ CO ²	17,128	17,984	10,820	11,360	11,930
		灯油の削 減 kg・ CO ²	7,166	7,524	7,900	8,290	8,700
		自動車燃 料の削減 kg・ CO ²	55,223	57,984	99,630	104,610	109,840

3	総排出量 削減	二酸化炭 素 削減 kg - CO ²	79,517	83,492	118,350	124,260	130,470
4	廃棄物排 出量削減	一般廃棄 物の削減 t	取組継続 (3,926)	取組継続 6,240	取組継続 (6,500)	取組継続 (6,800)	取組継続 (7,000)
5	総排水量 削減	水道水の 削減 m ³	取組継続 (184)	取組継続 184	取組継続 (180)	取組継続 (180)	取組継続 (180)
6	化学物質 の 適 正 な 取り扱い	受託した 化学物質 の適正な 取り扱い	取組継続	取組継続	取組継続	取組継続	取組継続
7	働き方改 革	有給取得 率の向上	83%	85%	85%	87%	87%
		週休 2 日 制への移 行	年間休日 110	年間休日 110	年間休日 110	年間休日 115	年間休日 115

2023 年度中部電力排出係数 0.433 kg - CO²/kwh

今年度は、2022 年 12 月より自社トラックが 1 台増大、収集エリア拡大により、粉末消火薬剤原料 5%増産を第 1 目標とする。

一般廃棄物や総排水量、受託した化学物質の適正な管理などは、増産の影響を受けにくく引き続き環境活動への取り組みを継続する。

2、環境経営計画及び実施した取り組み内容

2-1.二酸化炭素排出量削減

二酸化炭素排出量削減への取り組みは限界にきているが、増産に準じて 5%以内の増加に抑えることとし維持目標として以下の取り組みを実施した。

2-1-1 電力使用量の削減

工場

- ・工場の休憩休息中は、機械及び冷房を停止・消灯する。また、操業時間外は主電源を遮断する。
- ・コンプレッサーの配管点検やライン圧力の調整を行い、低圧化を図る。
- ・冷房の温度設定は 28 度以上にする。また、シャッターのこまめな開閉により、冷気を逃がさない。

事務所

- ・休憩休息中は消灯する。

- ・パソコン・コピー機は、作業中は省電力設定し、作業時間外は、パソコンは電源を遮断し、コピー機は待機モードに設定する。
- ・冷房暖房の適温化（冷房 28 度・暖房 20 度）に努め、夏場はブラインドによる遮熱を心掛ける。

休憩室

- ・冷・暖房は使用時のみとする。
- ・外付電気湯沸かし器は、夏場の使用を控える。
- ・電気ポットは 3 時の休憩後電源を切る。

更衣室・倉庫・トイレ

- ・照明・暖房は使用時のみとする。
- ・トイレ暖房便座・暖房は、冬期間のみ使用する。

2-1-2 灯油の削減

工場・倉庫

- ・休憩・休息中は暖房を停止し、シャッター・カーテンのこまめな開け閉めによる冷気の侵入を防止する。また、暖房温度の適正化（設定 20℃）を行う。
- ・防寒着の支給による、寒さ対策を行う。

更衣室

- ・暖房は使用時のみ

給湯室

- ・夏季の使用はしない。
- ・退社時は電源を切る。

2-1-3 自動車燃料の削減

フォークリフト

- ・適切なアイドリング時間
- ・こまめなエンジンストップ
- ・定期点検を適切に行い、オイル交換やフィルター交換及びバッテリー液の補充など、小まめな点検を行う。

トラック・営業車

- ・適切なアイドリング時間とこまめなエンジンストップ
- ・オイル交換やフィルター交換及び定期点検などを適切に行う
- ・収集運搬車の積載量に見合う量とルート回収を計画することで、効率的な収集運搬に努める。

2-2. 一般廃棄物排出量削減

取り組みの成果が確認され限界に達しているため、維持目標として取り組みの継続を行った。

- ・社内へはごみの持ち込みをしない。
- ・コピーに際しては、ミスコピーに注意し、裏紙利用を推進する。
- ・再生紙の分別を徹底し、資源物として排出する。

2-3.総排水量削減

取り組みの成果が確認され限界に達しているため、維持目標として取り組みの継続を行った。

- ・夏季の打ち水の廃止。
- ・カランのこまめな開け閉めに努める。

2-4.粉末消火薬剤原料の増産

「環境配慮製品の増産」のため、営業・収集運搬・中間処理と社内一丸となって粉末消火薬剤原料」の5%増産に努めた。

- ・既存のお客様とのコミュニケーションを密にするとともに、新規開拓に努めた結果、少しずつ成果がで始めている。
- ・定期訪問の実施により、安定した収集運搬量を確保することができた。
- ・迅速な収集運搬を旨に、お客様の要望に副った収集運搬を行ってきたが、自社トラックが1台増え、よりお客様の要望に副える収集運搬が行えるようになった。

2-5.働き方改革

- ・有給休暇取得率アップのため年度途中で総務から働きかけを行なったが横ばいとなった。
- ・年間休日110日のカレンダーづくりは今年度も行なったが、週休2日制への移行のため、1日の処理量の変更を計画し、環境省・長野県への申請手続きを開始した。

2-6.その他の取り組み

- ・環境安全会議を通じて、作業環境改善や安全対策などを話し合い、その都度改善を図った。
- ・年2回の環境測定を行い、作業環境の監視を行った。
- ・従業員の安全対策として、保護具の交換記録簿を活用し交換を促した。
- ・地震を想定した訓練を行い、緊急時の対応を皆で学んだ。
- ・自治体の消火器回収のお手伝いを行った。本年度は消火訓練への器具の貸し出しはなかった。
- ・県への「マニフェスト報告」や、消火器リサイクル推進センターを通じた環境省への「月次報告」など、環境関連法規の遵守やデータ提供を適宜行った。
- ・広域認定の規定を深く理解し、収集運搬ならびに中間処理に於いて正確な排出者情報（重量・本数・種類毎仕分け）と認定品管理を行い、物件每一貫した処

- 理を行うことができた。また、消火器リサイクル推進センターによる「中間処理施設年次点検」を受け、自己点検の機会とすることができた。
- ・廃棄物排出に際しては、仕分けを徹底し排出することができた。

3、取り組み状況の確認及び評価

3-1.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

粉末消火薬剤原料の増産による資源化促進 (t)

2021 年度実績	2022 年度目標値	2022 年度実績	評価
1,056	前年度の 5%増 1,110	1,187	○

達成状況と次年度の取組内容

- 収集部門・中間処理部門一丸となって増産することができた。自社トラック 1 台増台により、収集量も増え処理量の増産に繋がった。今後もエリア拡大に向けて、収集体制の強化に取り組む。また、処理量変更の申請許可を取り、生産量増産に向けて取り組む。

二酸化炭素排出量削減 (kg-CO²)

2021 年度実績	2022 年度目標値	2022 年度実績	評価
電力 17,128	前年度の 5%増 17,984	10,308	○
灯油 7,166	前年度の 5%増 7,524	6038	○
自動車燃料 55,223	前年度の 5%増 57,984	94,885	×
二酸化炭素総排出 79,517	前年度の 5%増 83,492	111,231	×

達成状況と次年度の取組内容

- 自動車燃料については十分な取り組みを行ったが、自社トラック 1 台増台し、収集運搬量の大幅な増加が影響し大幅に増えてしまった。
今後も収集量の増産が見込めるため、自動車燃料の増加が見込まれるが、細かな取組みを引続き行なう。
- 太陽光設備の稼働により、電力は効果が見られた。
引続き取組みは続けていく。
- 灯油の削減についても取り組みを継続しての結果で、成果が出た。

働き方改革

No.	働き方改革	主な対応方法
1	有給取得	有給の取得率アップの為、総務から取得率を知らせたが、横ばい状態で取得率アップに結びつけることができなかった。
2	週休2日制への移行	年間の休日を110日に設定した

達成状況と次年度の取組内容

○年間休日は110日を設定したが、いぜん有給取得率は伸び悩んでおり、繁忙期に早出や休日出勤することとなった。このためにも1日の処理量の増量許可に向けた申請作業を進めていく。

3-2.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社における環境関連法規について遵守の確認を行ったところ、下記の結果でした。
なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去にもありません。

適用法	法規制内容	評価結果	
廃掃法	・廃消火器の収集運搬	○	・リサイクルシール貼付及び広域認定品であることの確認が行われ、適正・安全な収集運搬を行っている。
廃掃法	・廃消火器の保管	○	・リサイクルシール貼付及び広域認定品であることの確認のもと、排出者・排出日・数量・重量表示が行われ、適正に保管及び帳簿管理されている。
廃掃法	・廃消火器の中間処理	○	・適正に処理・排出・記録を行い、県や環境省への報告を行っている。

4、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目	2023年度目標	
資源化促進	1,220 t	営業圏の拡大と収集運搬者業務の増員と教育。処理量の増量許可申請作業を進める。
電力の削減	10,820kg-CO ²	休憩中の機械及び冷房停止・消灯。総業時間外の主電源遮断。などの取組み継続。
灯油の削減	7,900 kg-CO ²	休憩中の暖房停止。シャッター・カーテンのこまめな開け閉めによる冷気の侵入防止。防寒着支給による寒さ対策。などの取組みを継続。
自動車燃料の削減	99,630kg-CO ²	適切なアイドリング時間とこまめなエンジンストップ。定期点検を適切に行う。積載量に見合うルート回収による効率的な収集運搬。などの取組み継続。 エンジンフォークリフトの見直し。
一般廃棄物の削減	取組継続（6,500）	裏紙利用など維持目標として取組み継続。
水道水の削減	取組継続（180）	カランのこまめな開け閉めなどの取組み継続。

5、代表者による全体の評価と見直し

二酸化炭素排出量の削減

生産体制拡大に向け自社トラックを増台し、収集運搬量が確保され処理量を増産することができた。

処理量が大幅に増加した結果、化石燃料の消費が伸びたが、太陽光発電設備の設置により二酸化炭素排出量の削減に繋がった。また、細かな取組みを継続し、削減に努めてほしい。

粉末消火薬剤原料増産

収集体制の増強により、収集運搬量が確保され増産に結びついた。今後もエリア拡大を進め生産量確保、また生産ラインの拡大に向けた申請を進め増産に向けて、収集部門・中間処理部門・総務の全社を挙げ、循環型社会の推進に貢献してほしい。

働き方改革

有給取得及び年間休日の充実については、成果が出ている。今後生産体制の増強に向け1日の処理量増量の申請を進めていき、繁忙期の休日出勤を無くし、週休二日制の実現に努めてほしい。